

特定非営利活動法人関西国際交流団体協議会

2025 年度(令和 7 年度)

事業報告書

(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

2025 年度の総括

2025 年度は、ウクライナ問題に端を発した穀物等の原材料及びエネルギー価格の高騰により様々な商品が値上がりした一年でした。また、労働市場においても初任給のアップ、物価にスライドした賃上げ等、労働コストが急激にアップした 1 年でもありました。当協議会においても慢性的な人材不足による組織強化に問題が発生している状況下にあります。組織改革に誠意努力中です。また財政的な問題解決に向けた会員及び賛助会員の募集関係資料を改定し、募集活動を行っているところです。

それでは、2025 年度の当協議会の活動を事業計画に沿って検証しながら報告させていただきます。

まず NGO/NPO 間の連携促進事業（会員向け事業）については、昨年にも増して、会員メンバーとの情報交換を密にし、会員団体のイベント及び PR について、メールマガジンを 46 回配信することができました。また、X（旧 Twitter）及び Facebook 等の SNS の活用については、昨年以上の回数で配信し、ワン・ワールド・フェスティバル（以下「OWF」という。）関係で 48 回、当協議会関係の配信で 41 回と活発に活動を継続し、特に OWF のアクセス数が 4 倍（20 万回）に跳ね上がり、OWF の集客にも大きく寄与することができました。今後も会員団体との交流を深め、有用な情報を会員間で共有できるネットワークの構築に努めてまいります。

本協議会が事務局機能を担う OWF は、昨年同様「梅田スカイビル」で、大寒波が襲来した極寒の中での開催となりました。しかしながら、悪天候にも関わらず、多くの来場者が訪れ、盛況の中閉幕を迎えることができました。梅田ステラホールで開催された「出展ブース」では 85 団体(90 ブース)が出展し、来場者に SDGs の活動を積極的に紹介していただきました。

また、出展者の活動を来場者にプレゼンができる PR コーナーも有効に活用していただきました。3 階ステラホール・ホワイエでのステージプログラムでは、民族舞踊及び民族音楽の他に、介護現場を支える外国人スタッフの現況について来場者と一緒に考える機会を得ることができました。梅田ステラホール・3 階ロビーでは、外務省フォトコンテスト「あなたの一歩が、誰かの希望に」の作品を展示し、相談コーナーとして「外務省 NGO 相談員ブース」「在留外国人向け防災啓発コーナー」を設けました。販売コーナーでは、出展団体の活動を広く知っていただくために、出展団体が扱う商品の販売を実施いたしました。

セミナープログラムは、昨年と同様に梅田スカイビル・タワーウエスト 22 階会議室にて開催しました。2 会議室で計 19 プログラムを実施することができました。外国人の医療の問題、変わりゆく国際協力の在り方等の参加団体から現在抱えている社会問題の中から問題提起をしていただきました。

屋外会場となるワンダースクエアでは、UNHCR の難民テントの展示、「みんなのキッチン」として 14 台のキッチンカーにより世界各国のグルメを提供することができました。また、「みんなのスポーツ」として、メキシコ発祥のルチャリブレを起源とする大阪プロレスの興行も行われ、厳寒の中でのパフォーマンスに来場者から熱い声援が送られました。そのリングの上では、試合の合間にカラオケ EXP02026 が開催され、外国人の方も参加され国際的なカラオケ大会となりました。年齢、性別、障がいのあるなしにかかわらず、すべての人が一緒に競い合える「ボッチャ」も盛況でした。また、オンラインにて、SDGs の理念や国際交流・国際協力への理解を深める「第 6 回動画コンテスト」を実施いたしました。

外国にルーツを持つ子どもたちの日本語習得の社会問題を受けて始めた事業「こどもプラザ」は、今年で 6 年目を迎え、順調に推移しています。受け入れた中学生 3 名は、幸いにも 3 名とも高校に進学することができました。今後も外国人流入の傾向が続くため、こどもの数も年々増加傾向にあるため、外国にルーツを持つ子どもたちの日本語習得及び居場所づくりのサポートは重要性を増しています。このような活動を支える資金の手当てとして、助成金の獲得は最優先事項となりますが、本年度の助成金は残念ながら獲得できませんでした。次年度の助成金獲得に注力し、大阪市教育委員会事務局、区役所及び校長会、小学校等との連携を密にし、子どもたちに寄り添った支援を継続して参ります。

1. NGO／NPO 間の連携促進事業（会員向け事業）

会員数＝正会員 34 団体、賛助会員（団体）0 団体、賛助会員（個人）0 人

（2026 年 3 月 31 日現在）

※団体名は本報告書末に一覧表を掲載

（1）会員サービスの充実

〔内 容〕 会員間の情報交換、経験の共有を図るとともに、会員それぞれが有する専門性や経験情報・人材を活かせるように連携や協働の促進に努めました。

① 会員名簿の発行

発行部数 50 部 配布先 会員団体

② 講演会の開催

タイトル：「ミャンマーの現状～草の根の支援活動から」

講師 一般社団法人日本ビルマ救援センター 代表理事 中尾恵子氏

開催日時：令和 7 年 6 月 19 日（木）15:00～16:45 講演・質疑応答

※会員及び会員以外の方々も含めて会場および ZOOM にて視聴しました。

（2）会員への情報提供と会員活動への広報協力

〔内 容〕

① 会員への情報発信

・会員からの問い合わせについて、各種助成金情報や会員団体による主催事業情報、NPO 支援に関する情報発信をホームページにアップし、昨年に引き続き SNS

等にて積極的に情報発信を行いました。

- ・本年度はメールマガジンを 26 回配信することができました。昨年同様に情報の配信を継続することで、会員間の情報の共有が可能となり、また会員以外の団体等に会員の活動内容を配信することで、有効な情報拡散ができましたことを報告させていただきます。

②国際交流等のイベントの後援及び活動の支援

- ・会員団体の国際交流イベントの活動の支援として、メールマガジン、SNS 等で後方支援として広報活動を実施しました。

③ 自主イベント時に会員情報の配布協力及び SNS 等を使用した情報配信の協力

- ・会員団体情報として、メールマガジン及び SNS にて情報配信を行いました。

(3) 会員と企業や団体の連携による事業

①会員との共同セミナー・講演会・イベントの開催

- ・会員団体の大阪国際交流センターとの「一日インフォメーション」の開催、OWF での会員団体との連携によるイベントの開催を実施しました。

② 会員の自主活動事業の協働支援

- ・会員団体の在留外国人に対するアンケート等の対応として、こどもプラザの保護者等を紹介する支援活動を実施しました。

③企業との SDGs の目標達成に向けた共同イベントの開催

- ・OWF の出展ブースに積極的に SDGs 活動を行っている企業の出展をお願いし、企業との交流を実施しています。

④企業と会員及び NPO 等とのセッション及び連携による SDGs の目標達成に向けた活動

- ・OWF の出展ブースへの出展団体の交流を促進することで、出展ブース会場を「プラットフォーム」として活用することで、様々な団体の連携につなげる活動を行っています。

⑤企業と会員及び NPO 等との今後の協働の在り方についての調査及び研究

- ・どのような協働が有効なのかをアンケート等を通じて絞り込み、今後の課題といたします。

2. NGO／NPO と多分野の団体、他機関との連携促進事業

(1) 第 33 回ワン・ワールド・フェスティバル

2026 年 2 月 7 日、8 日の両日、「梅田スカイビル」にて、「共に生きる世界を～今こそ想う みんなのいのち～」をテーマに掲げ、第 33 回 OWF を開催いたしました。

会場のメインは、NPO/NGO 等の 85 団体（90 ブース）に出展を頂いた「展示ブース」となります。ここでは、SDGs17 項目の達成に向けた各団体の活動を 5 つのグループに分けて紹介し、これらの取り組みを「見て、聞いて、理解する」ことができるため、学生や若者にとって活きた SDGs を学ぶことができる有用なプログラムとなっています。出展団体の活動をより詳細に知っていただくとうと、団体の紹介をする PR コーナーを設け、参加者が気軽に質問等ができるため、来場

者と出展団体との交流の場としての機能を果たすようになりました。

3階ステラホール・ホワイエでのステージプログラムでは、民族舞踊及び民族音楽の他に、様々なテーマでセミナー及びセッション等を開催することができました。特に厳寒の中での開催となりましたが、事故なく盛況の中閉幕を迎えることができました。各プログラムの状況については後述しますプログラム詳細をご参照ください。

また、2月7日（土）の夕方には、昨年同様に「キャンドルナイト」を開催いたしました。世界中で起こっている紛争による難民及び命を落とされた人々、また災害などで亡くなられた方の鎮魂と平和を願うために実施しました。

今回のOWFの開催に当たり、参加して頂いた多くの団体の皆様のほか、場所をお借りし様々なご協力をいただきました積水ハウス梅田オペレーション株式会社様、そして外務省、総務省、文部科学省、経済産業省、環境省、関西領事団、大阪府、大阪市、堺市をはじめとする省庁・自治体並びに教育委員会、各種団体、学校、企業等の皆様方には、運営協力、ご後援、ご協賛などの形で多大なご支援、ご協力をいただきました。また、事前準備や当日のボランティアとして多くの皆様にご協力を頂きました。改めて心より厚く感謝を申し上げます。



三木理事長挨拶



オープニングセレモニーの様子



出展ブースの風景

【開催概要】

- 【開催日】 ①会場（リアル）開催：2026年2月7日（土）～2月8日（日）
②オンライン開催：2026年2月1日（日）～2月28日（土）

- 【場 所】 ①梅田スカイビル・梅田ステラホール
②梅田スカイビル・タワーウエスト 22階会議室
③梅田スカイビル・ワンダースクエア
●オンライン開催：ワン・ワールド・フェスティバル 公式HP

【入場者数】 約 22,000 人

【視聴者数】 約 32,039 回数

【参加団体】 174 団体（会場：140 団体、オンライン：34 団体）

【プログラム数】 228 プログラム（会場：201 プログラム、オンライン：27 プログラム）

【ボランティア数】 延べ 303 人

【SNS 実績】 閲覧数 計 209,675（集計期間 2025 年 4 月～2026 年 3 月）

内訳 Facebook 36,030 Instagram 88,124 Threads 1,570 X 83,951

〔実施方法〕 実行委員会形式

〔協賛団体〕

朝日生命保険相互会社、イワサ(株)、(株)ウィザス（第一ゼミナール・第一学院高等学校）、(学)上田学園、(学)エール学園、大阪府生活協同組合連合会、大阪プライム法律事務所、(一社)大阪労働者福祉協議会、(株)大塚商会、(株)大番、音羽電機工業(株)、近畿労働金庫、コドモエナジー(株)、サラヤ(株)、(宗)真如苑、(株)ジャスピコ、積水ハウス梅田オペレーション(株)、大日本除虫菊(株)、(株)ダシーズファクトリー、南海電気鉄道(株)、新居合同税理士事務所、(一財)日本国際協力センター、日本労働組合総連合会大阪府連合会、(株)ベネシード、ミナミまち育てネットワーク、(株)リゾートライフ

〔運営協力〕

(一社)AWPS、大阪プロレス、Cyana House、(公財)京都市国際交流協会、(株)Compass、在大阪メキシコ合衆国名誉領事館、サラヤ(株)、サントリーホールディングス(株)、積水ハウス梅田オペレーション(株)、(株)創縁舎、(株)ダシーズファクトリー、東豊配送(株)、(株)トライアングル、(特活)パラスポーツサポーター、(株)ベネシード、ボラステぽっぽ、(株)リゾートライフ

〔後援団体〕

外務省、総務省、文部科学省、経済産業省、環境省、関西領事団、大阪府、大阪市、堺市、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、堺市教育委員会、大阪府PTA協議会、大阪市PTA協議会、堺市PTA協議会、大阪商工会議所、(公社)関西経済連合会、(一社)関西経済同友会、(公財)関西・大阪21世紀協会、(公財)大阪観光局、(公社)大阪府看護協会、大阪弁護士会、日本労働組合総連合会大阪府連合会、(一財)自治体国際化協会、(公社)日本ユネスコ協会連盟、(公財)ユネスコ・アジア文化センター、関西SDGsプラットフォーム、(公財)大学コンソーシアム京都、(特活)大学コンソーシアム大阪、(公社)日本WHO協会、(一財)大阪教育文化振興財団キッズプラザ大阪、梅田スカイビル商店会、北区商店会総連合会、ミナミまち育てネットワーク、(公財)ワールドマスタースゲーム2021関西組織委員会

〔準備活動〕

① 実行委員会の結成

* 2025年5月19日に第1回実行委員会を開催し、下記の団体で実行委員会を結成。

* 構成団体：(独)国際協力機構関西センター、(公社)アジア協会アジア友の会、(公社)アムネスティ・インターナショナル日本・関西連絡会、(認活)大阪NPOセンター、(一社)大阪青年会議所、(一社)南太平洋協会、イワサ(株)、(株)エキスプレス、(株)ディーボックス、(特活)関西国際交流団体協議会（全10団体）

② 実行委員会の開催

* 実行委員会は4月から毎月開催し、イベント開催月の前月の1月まで、合計9回開催しました。

2025年5月19日、6月17日、7月7日、8月4日、9月11日、10月14日、11月11日、12月18日、2026年1月22日

③ 出展団体の募集期間

* 出展ブース、セミナー、ステージ及びオンラインブースの参加団体の募集期間
2025 年 8 月 19 日（火）～10 月 31 日（金）

* ワンフェス動画コンテストの募集期間 2025 年 7 月 1 日（火）～11 月 5 日（水）

〔プログラム実施内容〕

①出展ブース（85 団体、90 ブース）

* NGO／NPO、ODA 機関、教育機関、企業等 85 団体が参加し、SDGs の取組活動を紹介しました。この出展ブースは、SDGs17 項目の達成に向けた各団体の活動を 5 つのグループに分けて紹介し、これらの取り組みを「見て、聞いて、理解する」ことができる大変有用なプログラムとなっています。また、前回から出展ブースに参加している団体が、自団体の活動紹介及び広報を目的としてプレゼンができる「ブース PR コーナー」を設け、19 団体がそれぞれの取り組みを発表することができました。



出展ブース会場の風景



ブース PR コーナーの風景

②セミナー・ワークショップ（19 団体、19 プログラム）

* 梅田スカイビル・タワーウエスト 22 階会議室の 2 つの会議室において、現在世界で起きている紛争に端を発した人権の問題、国際交流の在り方、国際協力の人材の育成等市民一人ひとりが自分の問題として意見を述べそして議論する、という、参加者に動機付けができるセミナーを開催することができました。



梅田スカイビル・タワーウエスト 22 階会議室セミナーの風景

③ ステージ（屋内ステージ：11 団体、17 プログラム 屋外ステージ：3 団体、5 プログラム）

* ステラホール 3 階ホワイエの屋内ステージでは、従来の世界各国の民族舞踊及び民族音楽をステージで展開する国際色豊かなプログラムと、ガザの現地報告に基づいた命の大切さについての、来場者も含めての呼びかけを行いました。また、介護現場を支える外国人スタッフの重要性等を学ぶことができました。さらに、ご協賛頂いた企業の CSR 活動などを配信するスポンサーチャンネルタイム等、多彩なプログラムを実施しました。



屋内ステージの風景

* ワンダースクエアの大阪プロレスの特設リングを使った屋外ステージでは、大阪プロレスのパフォーマンスだけではなく、サンバの打楽器の演奏やゴスペルの歌声、カラオケ EXP0 での自慢の歌声の披露等極寒の中にも関わらず大いに盛り上がりました。



屋外ステージの風景

④ みんなのキッチン（14 団体）

* ワンダースクエアでは、世界の料理を食べることができる「みんなのキッチン」を開催し、国際色豊かな料理をキッチンカー14 台で提供していただきました。しかしながら、あいにくの悪天候のため、寒い中での食事となりましたが、お客様の温かいご支援をいただいて無事終了することができました。



みんなのキッチン（ワンダースクエア）会場の風景

⑤みんなでスポーツ（2団体、9プログラム）

＊ワンダースクエアで開催された世界の珍しいスポーツを紹介する「みんなでスポーツ」は、悪天候により中止した競技もありましたが、健常者も障がい者も一緒に参加できるボッチャのparasports体験、大阪プロレスの試合とちびっこプロレス教室を開催することができました。来場者の積極的な参加により、寒さを吹き飛ばすほどのパフォーマンスでした。なお、ボッチャ体験は梅田スカイビル・タワーウエスト3階ステラホールロビーにて実施しました。



みんなでスポーツの風景

⑥外務省写真展「あなたの一歩が、誰かの希望に」の開催

＊毎年恒例となりました「外務省写真展」は、来場者が行き交う梅田スカイビル・タワーウエスト3Fステラホールロビーで開催しました。今回は、あなたの一歩が誰かにとって希望の力になっている、笑顔の力になっている、という明るい前向きな気持ちになれる作品が集まりました。



外務省写真展の風景

⑦避難民テントの展示（1団体）

＊ワンダースクエアにて、国連UNHCR協会の難民テントの展示が行われました。

実際に避難地で使用されているテントの中に入り、避難民が置かれた困難な状況に思いを馳せ、実際に起こっていることを想像しながら疑似体験ができる、貴重な体験プログラムとなりました。



テント展示(国連UNHCR協会)の風景

⑧体験型イベントの実施等（主催：実行委員会）

* ステラホールにて世界の民族衣装の着付け体験、メキシコのピニャータ制作及び体験、モンゴルの伝統競技シャガイン・ハルバー体験、こども家庭庁のオリジナルペンダント制作等の体験を実施しました。そして、土曜日、日曜日には屋外で、完成したピニャータの中にお菓子等のプレゼントを詰め、こどもたちが割ってプレゼントを取り出す「ピニャータ割り」というワクワクする体験会をワンダースクエアで3回実施しました。また、来場者にスタンプラリー用紙を渡し、会場で実施されているプログラムを巡りながら、決められた場所でスタンプを集めると景品がプレゼントされる「スタンプラリー」を実施しました。



体験型イベントの風景

⑨お楽しみコーナー

今回は、屋外で実施する予定のダーツと輪投げを、悪天候の為、屋内へ移しの実施でしたが、簡単に遊ぶことができるため、多くの来場者に楽しんでいただきました。また、留学生で構成するよさこいダンスグループも、寒さを吹き飛ばす熱気あふれるパフォーマンスを披露し、会場を大いに盛り上げていただきました。ピニャータ割も多くのこどもが参加し盛況でした。



お楽しみコーナーの風景

⑩相談コーナー（2団体）

* ステラホールロビーにて外務省 NGO 相談員ブースと在留外国人向け防災啓発コーナーを設け、来場者へとりわけ在留外国人の方々へ情報提供を行いました。



相談コーナー

⑪特別販売コーナー

* 展示ブース参加団体の希望により特別販売コーナーを設け、ステラホールロビーにて参加団体の活動内容を紹介しながら魅力ある商品の展示販売を実施しました。



特別販売コーナー

⑫キャンドルナイト

* 世界中で起こっている紛争による難民及び命を落とされた人々、また災害などで亡くなられた方の鎮魂と平和を願うために、昨年に引き続きキャンドルナイトを開催しました。



キャンドルナイト

⑬第6回ワンフェス動画コンテスト（18グループ、18プログラム）

* 動画コンテストには、小・中・高校生部門の応募作品8作品、専門・大学生・社会人部門の応募作品10作品、全体で18作品の応募がありました。今回で6回目の開催となります。SDGsの理念や国際協力、国際交流への理解を深めるツールとしての役割を果たしています。



動画コンテスト 小・中・高校生部門 最優秀作品



動画コンテスト 専門・大学・社会人部門 優秀作品

⑭スポンサーチャンネル（16団体、19プログラム）

* ワン・ワールド・フェスティバルにご協賛及びご支援をいただいている企業のCMやCSR活動を配信するものです。

⑮交流会

OWFに参加されている団体の交流及び連携を目的としたネットワーク構築のために、互いに交流できる「場」として、交流会を開催しました。出展ブース参加団体を中心に約50名程度が参加されました。OWFへの参加を機会に、今後も互いの関係及びつながりが深まることを願っています。



交流会の風景

(2) こどもプラザ

【事業の概況】

2025年度の「こどもプラザ」の事業は、大阪への外国人労働者が前年度比13.2%と急増したことに伴い、当こどもプラザへも外国にルーツがあるこどもたちの申込が急増しました。こどもの受入れは、従来毎回7～8人で推移していましたが、2025年4月から15名程度に増加しましたが、引き続き申し込みが殺到し約6名程度のウェイティングが発生し、その後も継続して問い合わせがある状況でした。(現在の在籍：ベトナム4名、ネパール1名、中国7名)

現在、中学生が4名在籍し、3名が大阪市内の高校に合格しています。(上宮高校1名、あべの翔学高校2名が合格)、残りの1名は、夜間高校への進学が決まりました。

このように申込者が多く、また通常10名が限度でしたが、それ以上のこどもを預かっていますので、運営費用が増加しているのが現況です。2025年度は、助成金の申込を5団体に対して行いましたが、残念ながらすべて落選となってしまいました。

今後の対応として、預かるこどもの数は小学中学生を中心に10名程度に固定し、高校生についてはオブザーバーとして受入、自身の経験を活かし、小学生の精神的なサポート及びボランティアの補助とした役割を担っていただくような方法に変更する予定です。

こどもプラザの運営資金として、大阪市、民間団体等の助成金を獲得することが最優先となりますので、順次対応する予定にしています。

また、大阪市教育委員会事務局、区役所及び校長会、小学校等との連携を密にし、確かな情報を得ながらこどもたちの支援を継続して参りたいと考えています。今後は、民間からの助成金を募り、中学生の受入れも継続して対応できるようにいたします。

【事業の成果】

【令和7年度事業実施の成果】

1) 事業期間 2025年4月1日～2026年3月31日

2) 実施回数 ①こどもの日本語習得実施回数

47回

	②保護者の日本語習得実施回数	47 回
3) 参加者数	①こどもの延べ参加人数	530 人
	②保護者（主に母親）の延べ参加人数	266 人
	③ボランティア指導員延べ人数	433 人

※ボランティアを募るのが難しく、公的な媒体及びチラシ、HP 等で告知をしていますが、人数確保に苦労している状況が続いています。



こどもプラザの授業風景



みんな遊びの風景



クリスマスの記念写真

3. 国際交流・国際協力・市民活動に関する情報収集と提供事業

(1) NGO／NPO に関する情報の収集・提供事業

〔目 的〕 国際交流・国際協力に関する多様な情報収集と提供を行う

〔内 容〕 関係機関からの情報を整理し、ホームページ上で「新着情報」として取り上げ、タイムリーに配信することを継続しています。また、PICK UP 情報として、イベントの情報を詳しく紹介するコーナーも設け、情報発信の充実を図りました。各団体からの掲載の依頼なども新着情報と併せてメールマガジンに掲載し、約 867 団体に配信を行いました。

●メールマガジンの配信実績

① 関団協ニュースレター	8 回配信	Vol. 54～Vol. 61
② その他のニュース配信	38 回配信	

●メールマガジンの主な配信先

① 関団協の会員	89 件
② OWF 関係団体及び過去の出展者	221 件
③ OWF のボランティア	93 件
④ <u>その他関団協との関係者(過去の会員団体を含む)</u>	<u>613 件</u>
配信件数合計	1,016 件

4. 開発教育・市民意識啓発と活動への参加促進事業

①国際理解（世界で起きている社会問題等）の教育の促進

OWF の会場で開催される SDGs の活動を「見て、聞いて、理解する」ことができる出展ブースを、

教育の場として活用し、中学生、高校生、大学生の学ぶ場としての役割を果たすように努めてきました。今回も前回に引き続き、奈良・育英西中学校の生徒約 80 名が会場を訪れ、生徒各自が出展ブースを巡り生徒一人ひとりの目線（考え方）で、自分に合った課題を選び、出展ブースの団体にヒアリングを行い、今起こっている社会問題等について自分の考えをまとめる、という学習体験をしていただきました。

〔期 間〕 2026 年 2 月 7 日（土）

〔会 場〕 梅田ステラホール「出展ブース」

〔参加人数〕 奈良・育英西中学 1 年生（生徒約 80 名）引率先生 2 名

②SDGs の市民が参加できるシンポジウム等の開催

2 月 7 日（土）、8 日（日）に開催された OWF のセミナー会場にて、SDGs17 項目に沿った様々な講演及びセミナーが開催され、訪れた市民の方々と意見交換を実施しました。

③その他国際交流・国際協力活動に繋がるイベントの自主開催及び他の団体が開催するイベントへの後援及び協力により市民意識啓発

外国にルーツを持つ子どもたちへの支援の関係で交流を深めています大阪国際交流センターとの連携を強化しています。

④将来の担い手づくりの一環として、留学生のインターンシップを受入れ、国際交流・国際協力に繋がる人材育成

○人材育成事業（留学生のインターン受入れ）

学校法人エール学園の推薦により、2 名の留学生を受入れ、国際交流・協力を目的とした「ワン・ワールド・フェスティバル」の開催に伴う、企画、折衝、プログラムの制作の補助、イベント参加者の対応等、イベント開催の運営の実践を学ぶインターンシップを実施しました。

〔期 間〕 2025 年 10 月 1 日～2026 年 2 月 27 日

〔対 象〕 学校法人エール学園 留学生 2 名（ベトナム 1 名・インドネシア 1 名）

〔内 容〕 イベント企画の内容のチェック、実行委員会における企画の承認、イベント参加団体の募集、募集のためのポスター及び募集ツールの作成、過去に参加された団体等への募集要項の発送、応募者受付及びリストの作成、イベント告知ツールの作成、チラシの作成等運営について実践的に学べる内容となっています。また、開催当日もイベントに参加し、企画したことが実践される過程を学ぶことができました。

5. NGO／NPO の基盤強化事業

NGO/NPO の基盤強化のために法律や税務等のエキスパートと連携し、NGO/NPO 等の団体がスムーズにサービスを受けることができるシステムを構築しています。

※会員等団体から申し出があれば、協議会から各エキスパート関係者に予約を打診し、その後会員等団体の相談者が直接エキスパートに相談するシステムにて運用しています。

〔事業の成果〕 問い合わせはありますが、会員からの具体的な申込がなく、どのような場合に利用できるのかの質問等に留まっています。このため、今後は積極的な PR を行い NP0 等の基盤強化に貢献したいと考えています。

6. 調査研究・提言事業

①会員及び他の NP0 等の現状調査

当協議会は、会員団体からのイベント等の情報収集を積極的に実施し、メールマガジン等を利用した情報提供を継続して行って参りました。また、会員の現状調査については、どのような問題を抱えているのかについてアンケート調査を行い、情報を共有したいと考えているところです。

②外国にルーツを持つこどもたちの現状報告

少子高齢化の影響で労働人口が急激に減少している状況下で、働き盛りの労働力を確保することが日本経済にとっては重要な課題となっています。現在 380 万人超の外国人が日本国内に在留していますが、労働人口として換算される人数は 280 万人程度にも達しています。かなりの人数が日本の労働力として貢献されています。しかしながら、日本人の出生率の低下に伴い労働人口の減少が将来的に加速する傾向にあるため、外国人労働力を求める需要がますます強まることとなります。このような背景を考慮しますと、将来的にも外国にルーツを持つこどもたちの増加が続き、教育現場の混乱と多文化共生の社会問題を引き起こすことは必定となります。大阪市内においても、外国にルーツを持つこどもたちの日本語習得をサポートする人材不足に悩まされています。このような教育現場での混乱もありますが、当協議会が進めている「こどもプラザ」事業の結果報告を大阪市教育委員会事務局、助成金のご支援をいただいている企業・NP0 等に実態報告を行う事で、外国人労働者の受入が社会全体に及ぼす影響について、情報を共有することが重要と考えます。今後も継続した事業報告を HP 等も含めて対応して参ります。

③一日インフォメーションの開催

在留外国人の増加に伴い、日本での法律の問題、生活の困窮及び生活するうえでの問題が発生しています。このような問題解決の術を知らないという在留外国人を対象に、2025 年 7 月 12 日（土）、2026 年 1 月 17 日（土）の 2 回、「外国人の住みやすい大阪」を考える関係機関等連絡会議（事務局＝大阪国際交流センター）が主催する「1 日インフォメーションサービス」を開催しました。この相談会は、無料で相談できるもので、ワンストップで相談できると大変好評なイベントでもあります。この事業の報告をさせていただきます。

1) 2 日間の相談者実績合計：144 組（187 名）

2) 主な相談内容：出入国・在留関係 83 件、労働関係 37 件、法律関係 34 件、税金関係 18 件及びその他となっています。

3) 相談者国籍：中国 66 組、台湾 8 組、香港 6 組、アメリカ 6 組、フィリピン 5 組、ベトナム 5 組、他

会員団体一覧

(2026 年 3 月 31 日現在)

正会員 34 団体

<正会員>

- | | |
|---------------------------------|-------------------------------|
| (公社) アジア協会アジア友の会 | (公社) 青年海外協力協会 JOCA 大阪 |
| (一財) アジアセンター 21 アジア図書館 | 忠岡町国際交流協会 |
| (一財) アジア・太平洋人権情報センター (ヒューライツ大阪) | (特活) ナック (NAC) |
| (公社) アムネスティ・インターナショナル日本・関西連絡会 | (一財) 日本国際飢餓対策機構 (Hunger Zero) |
| 茨木市国際親善都市協会 | (一財) 日本国際協力センター関西支所 |
| (学) エール学園 | (特活) 日本多文化交流協会 |
| (公財) オイスカ関西支部 | 日本・ベルギー協会西日本支部 |
| (公財) 大阪国際交流センター | (公社) 日本ユネスコ協会連盟 |
| (一社) 大阪青年会議所 | 日本労働組合総連合会・大阪府連合会 (連合大阪) |
| 大阪日米協会 | パナソニックグループ労働組合連合会 |
| (認活) 大阪府高齢者大学校 | 東大阪市国際交流協会 |
| (公財) 大阪 YMCA | ファミリー&フレンズ・プロジェクト |
| (公財) 大阪 YWCA | (一社) 南太平洋協会 |
| (一財) 海外産業人材育成協会関西研修センター | |
| 関西日英協会 | |
| 関西日豪協会 | |
| 関西日本・スイス協会 | |
| 関西日本・フィンランド協会 | |
| (公財) 京都市国際交流協会 | |
| (独) 国際協力機構関西センター (JICA 関西) | |
| (公社) C I S V 日本協会関西支部 | |

五十音順・敬称略

【2025 年度を以って退会する団体】正会員 1 団体 (2026 年 3 月 31 日現在)

- ・ファミリー&フレンズ・プロジェクト